

2018年度の調査結果のうち、卒業時4年生が本学で身に着いたと捉えている能力は(8割以上の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答)は、「関係を築く力(DP I)」「擁護する力(DP II)」「実践する力(DP IV)」でした。具体的には、次の項目が上位でした。

<身についた力>

異なる文化、価値観をもつ人々を、かけがえのない人間として尊重する態度を身につけている(87.9%)

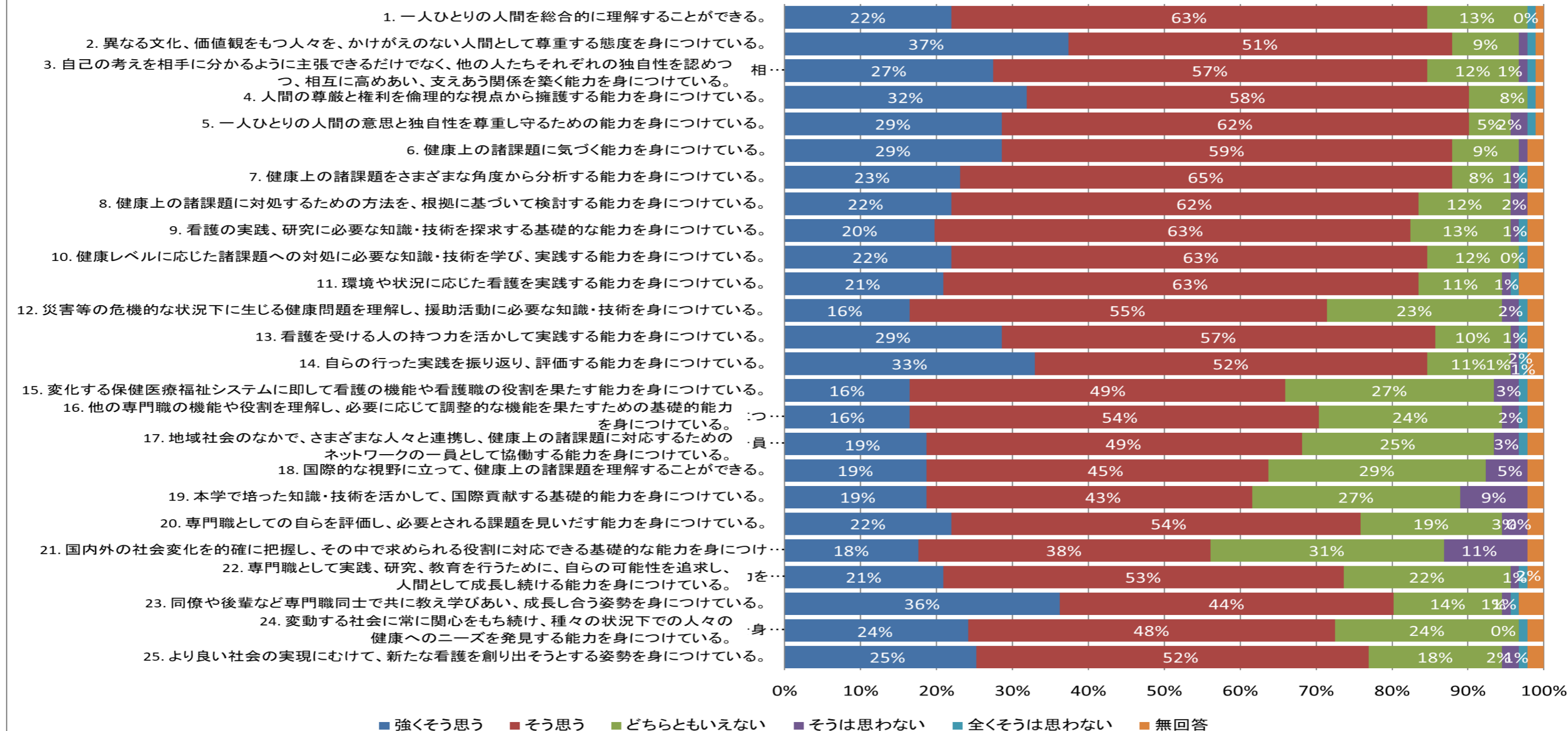
人間の尊厳と権利を倫理的な視点から擁護する能力を身につけている(90.1%)

一人ひとりの人間の意思と独自性を尊重し守るための能力を身につけている(90.1%)

健康上の諸課題に気づく能力を身につけている(87.9%)

健康上の諸課題をさまざまな角度から分析する能力を身につけている(87.9%)

2018年度調査 卒業時に身についた力 (学部4年)



本学の在校生のカリキュラムに対する受け止めについて、学部4年生が「強く思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目の上位は、次の通りでした。医療の高度化や看護ニーズに対応できるような専門的能力を養うカリキュラムであると評価されています。

<本学のカリキュラムについて評価>

医療の高度化や看護ニーズの多様化等に対応する専門的能力を育成するようなカリキュラムである(90.1%)

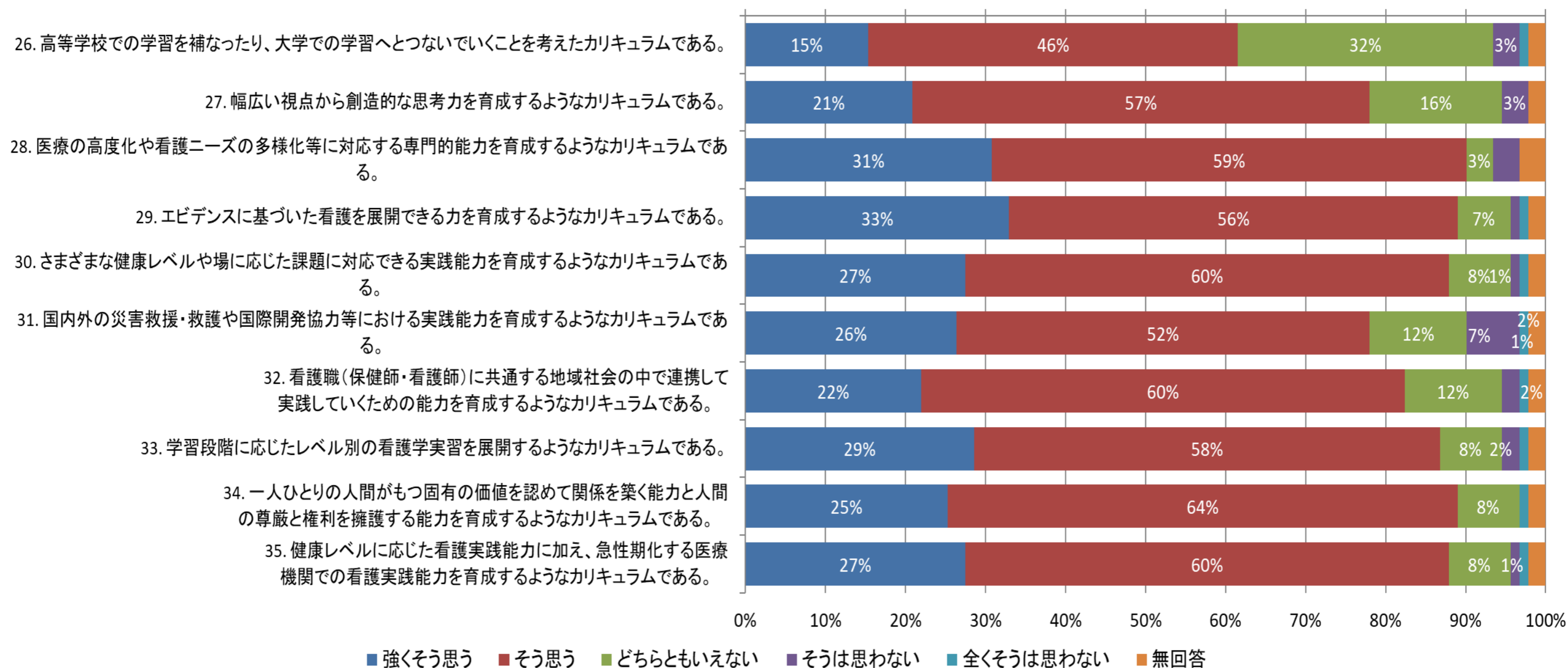
エビデンスに基づいた看護を展開できる力を育成するようなカリキュラムである(89.0%)

一人ひとりの人間がもつ固有の価値を認めて関係を築く能力と人間の尊厳と権利を擁護する能力を育成するようなカリキュラムである(89.0)。

さまざまな健康レベルや場に応じた課題に対応できる実践能力を育成するようなカリキュラムである(87.9%)

健康レベルに応じた看護実践能力に加え、急性期化する医療機関での看護実践能力を育成するようなカリキュラムである(87.9%)。

2018年度 本学のカリキュラムに対する評価（学部4年）



本学の在学生在が学習環境に関して、「強く思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目の上位は次の通りでした。学問分野の専門家として優れた教員が多いことや、学生を尊重してくれる教員が多いことに対して肯定的に評価していました。

＜本学の学習環境についての評価＞

- 学生一人一人を尊重してくれる教員が多い (76.9%)
- 学問分野の専門家として優れた教員が多い (80.2%)
- 授業以外でも、学生の質問や意見に適切に対応してくれる教員が多い (75.8%)
- 人間的に魅力があり、尊敬できる教員が多い (75.8%)

2018年度学習環境に対する評価(学部4年)

